

# I G S 支部紹介 「北米支部」 N A G S

( I G S NEWS Vol.11 No.3 Nov 1995より)

I G S 日本支部 事務局 大 倉 史 郎

## 1. 会員数の推移

過去5年間の推移は次の通りである。

1991	——	402
1992	——	361
1993	——	501
1994	——	432
1995	——	584

学生メンバーは7大学から79名である。

## 2. 活動状況

- ・ Geosynthetics'95— I G S と I F A I 後援の2年に1回の会議。1995年2月21～23日ナッシュビルで開催、1673名の参加者に99の展示ブースと今までで最大の規模となった。実用上での研究と学術的な研究と90篇の論文が各国からの参加者から提出された。セッションはよう壁、法面と堤防、濾過、道路と鉄道、基礎、技術進歩と革新、廃棄物と流体の封じ込め、ランドフィル設計、耐久性、試験方法の各テーマに沿ってすすめられ、スペシャルセッションとして学生の論文発表と耐久性に関するパネルディスカッションが行われた。
- ・ Geosynthetics'97— 1997年3月11～13日、ロングビーチで開催予定。この会議の形式は翌年の第6回 I G S 大会に合わせるようにかえられるであろう。特に強調される分野として高強度の補強、耐久性、鉱山、補修と封じ込め、耐震設計と建設、舗装、崩壊防止、コスト対効果の経済性検討などがあげられ、論文もこれらのテーマにそって提出されるようにする。
- ・ 第6回 I G S 大会— 準備はカーナー博士をリーダーにビーチ、ディエルツ、ジルー、ロウの各氏からなる組織委員会によって進行中である。1998年3月25～29日、アトランタのインフォーラムでの開催が予定されている。会議の最初の案内は1995年初秋に出る。
- ・ Geofilter'96— 第2回濾過、排水に関する国際会議、N A G S の協力で5月モンリオールにおいて開催する。
- ・ 優秀者表彰— Geosynthetics'95で5篇の論文がその革新性、創造性と傑出した貢献により表彰を受けた。表彰は環境技術、研究開発、実用化技術、土工学技術及び大賞の5カテゴリーに分かれており、賞牌の外に各受賞者が選んだジオシンセティックス研究機関へそれぞれ1万ドルが寄贈された。賞金はメーカー、商社、エンジニアリング会社、関連機関や個人から提供を受けたものである。
- ・ 学生表彰— 初めての試みとして、北米の全日制大学の学生から論文を募集し、審査の上で上位6篇の著者に対して旅費を支給、Geosynthetics'95の会議に出席して発表の機会を与え、同時に最

終審査を実施して、今回は優秀2篇に各500ドルの賞を贈った。論文の審査は提出した学生の在  
学校を除く大学の権威に依頼し、旅費や賞金などの費用はNAGSとIFA Iで負担した。

・教育担当者を教育するプログラム—7月31日から8月4日までオーバン大学で実施、今回が第  
2回目である。NAGSではIGS本部からの還付金をこの費用にあてている。外に、スポンサ  
ーとしてIFA Iのジオテキスタイル部門、US環境保護庁、連邦ハイウェイ管理局などがある。  
講師はFHWAのディマジオ氏、ワシントン大学のホルツ博士、シラキュース大学のバチア博士、  
オーバン大学のエルトン博士、バーグコンサルタントのバーグ氏、ドレクセル大学のカーナー博  
士である。アメリカ及びカナダから21名の教授が参加した。今年の参加者は昨年と比較してジ  
オシンセティックスの素養があり、反響も上々で、ジオシンセティックスを積極的に講座に取り  
入れていく意向が表明された。

・会長経験者のプログラム—学会のメンバーを応援し、組織の拡大を図る一環として、地域毎の  
セミナープログラムに会長経験者が参加している。

### 3. 出版

・ケーススタディ集—作成中で1996年はじめ頃出る予定。

・ジオメンブレン選択ガイドライン—ポリエチレンジオメンブレンのガイドラインで、目下作成  
中、出版時期は未定。

・Geosynthetics'95議事録—99の論文を収録、全2巻。IFA Iから出版。

・NAGS NEWS—IFA IのGeotechnical Fabrics Reportの各号に1ページのニュースを提  
供している。